

ニューヨークにて相次ぎ観光促進イベントが開催

蟬本 睦

＜欧米向けグローバルキャンペーンの発表＞

3月13日（火）、タイムズスクエアのロイター通信本社、30階の大ホールにて、日本政府観光局（JNTO）は、今年より欧米各国で開始したグローバルキャンペーン「Enjoy my Japan」の発表会を開催しました。同キャンペーンは、JNTOによれば、欧米豪（欧州、北米、豪州）市場を中心に存在する「海外旅行には頻繁に行くが日本を旅行先として認知・意識していない層」をターゲットに、「日本が、誰もが楽しむことが出来る旅行目的地」であることを2020年に向けて複数年にわたり、アピールしていくというものだそうです。登壇された、JNTOの松山理事長は2020年に向けて現在約2,900万人の訪日外国人数を、4,000万人にすることを目標とする、と力強く宣言され、新しく制作され全世界で流される「Enjoy my Japan」の動画を来場者に向けて紹介されました。



＜訪日外国人としてはまだまだ少ない米国人＞

JNTOの発表資料によれば、2012年に836万人だった訪日外国人旅行者数は、5年間で約3.5倍に増え、2017年は過去最高の2,869万人を記録、また、訪日外国人旅行消費額も4.4兆円となり、初めて4兆円を突破したとのことです。一方で、2017年の訪日外国人旅行者数のエリア別内訳は、近隣のアジアが全体の85%を占め、所得水準が高く成熟した観光市場を擁する欧米豪諸国からの旅行者の割合は限られている、とのことです。

アメリカからの訪日は、2015年に初めて

100万人を超え、2017年には、約137万人となりましたが、まだまだ圧倒的な近隣アジア諸国からの訪日に比べればわずかなシェアにすぎません。そこで、政府としても欧米諸国向けの特別なキャンペーンを立ち上げたということのようです。

＜グランドセントラルターミナル駅でも訪日促進イベント、ジャパンウィークが開催＞

また、上記発表会の翌日、3月14日（水）には、グランドセントラルターミナル駅において、ジャパンウィークが開催されました。17日（土）までの4日間、多くのニューヨーカーにお披露目されました。今年で第7回目、例年異なるテーマですが、今年は3Dトリックアートがテーマとなり、会場のあちらこちらに置かれた絵の前で写真を撮ると、あたかもラーメンの中に自分が入ったり、人力車を持ち上げたりといった写真が撮れるというような仕掛けでした。いわゆる「インスタ映え」を狙った仕掛けですが、正面のメインの最大の写真が、広島の大島神社の風景を使ったトリックアートでした。

グランドセントラルはニューヨーク随一の交通の要衝、1日75万人が利用すると言われています。多くの来場者が、広島の風景の前で写真を撮っていましたが、このイベントに参加された方の多くが、広島を訪れてくれるといいですね。

